

先週末までのマーケット動向(4月25日~4月29日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,243.5	1,274.7	1,243.5	1,255.9	+16.8
JPY/KRW	9.6688	9.9244	9.6341	9.6422	▲0.038
KOSPI	2,676.67	2,696.10	2,615.50	2,695.05	▲9.66

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。米株の大幅な下落を受けて25日には1,243.5ウォンでオープン。上海に加え北京も全面的なロックダウンに入る可能性が報じられると、人民元が大きく売られ、ドル/ウォンは上昇。26日にかけても底堅く推移した。海外時間にはロシアがポーランド向けの天然ガスの供給を停止するとの報道(27日に停止)等や、中国の景気鈍化懸念、米政策金利の引き上げ加速等の悪材料が重なり米株が大きく下落すると、ドル/ウォンの上昇は加速。28日にはBOJが指値オペ継続を明言したことで、ドル円が急伸するとドル/ウォンも1,274.7まで上昇した。しかし、この水準ではBOKによる為替介入と思われる動きも散見され、ドル/ウォンは反落。結局、先週末対比16.8ウォン上昇した1,255.9ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。5日に控えるFOMCでは50bpの利上げに加え、今後の利上げ見通しが注目となっている。パウエルFRB議長による記者会見では6月以降の75bpの利上げ可能性について何らかの示唆が出た場合には、さらなるドル買いとなろう。足もとのインフレ状況を勘案すると、利上げ見通しを引き下げるとは考えにくく、ポジション調整以外でウォン買いを期待しにくい状況は継続か。韓国においても4月CPI(3日発表)は5月末のBOK会合での利上げの可能性を検討する上で、注視してまいりたい。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1250 ~ 1280	9.55 ~ 9.90	129.0 ~ 131.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 2日(月) 欧 4月 消費者信頼感指数 確報値
米 4月 製造業PMI 確報値
欧 4月 製造業PMI 確報値
米 4月 ISM製造業景況指数
- 3日(火) 米 3月 耐久財受注 確報値
韓 4月 CPI
米 3月 製造業受注
- 4日(水) 欧 4月 サービス業PMI 確報値
米 4月 サービス業PMI 確報値
米 4月 ADP雇用統計
米 4月 ISM非製造業景況指数
米 FOMC 政策金利発表
- 5日(木) 中 4月 総合PMI
中 4月 サービス業PMI
- 6日(金) 日 4月 東京都区内CPI
米 4月 非農業部門雇用者数
米 4月 失業率